

花見 常幸 名誉教授 略歴及び研究業績

略 歴

- 1971年3月 創価高等学校 卒業
- 1971年4月 創価大学法学部法律学科 入学
- 1975年3月 創価大学法学部法律学科 卒業
- 1975年4月 創価大学大学院法学研究科修士課程 入学
- 1978年3月 創価大学大学院法学研究科修士課程 修了
- 1979年4月 創価大学大学院法学研究科博士課程 入学
- 1982年3月 創価大学大学院法学研究科博士課程 単位取得満期退学
- 1982年4月 創価大学平和問題研究所 助手
- 1985年4月 創価大学法学部 専任講師
- 1985年4月 創価大学平和問題研究所 研究員 (2003年3月まで)
- 1989年4月 財団法人東洋哲学研究所 プロジェクト研究員 (1992年3月まで)
- 1991年4月 創価大学法学部 助教授
- 1992年4月 米国ハーバード大学 J.F. ケネディ・スクール・オブ・ガバメントにて、在外研究 (1993年3月まで)
- 1994年4月 創価大学法学部 学部長補佐 (2000年3月まで)
- 1994年4月 八王子市情報公開審査会 委員 (1996年6月まで)
- 1996年7月 八王子市情報公開・個人情報保護審査会 委員
- 1997年4月 創価大学法学部 教授
- 1998年4月 創価大学国家試験研究室 副室長 (2000年3月まで)
- 2000年4月 創価大学国家試験研究室 室長 (2004年3月まで)
- 2000年4月 創価大学大学院法学研究科博士前期課程 講義担当
- 2003年3月 社会福祉法人敬愛学園 評議員
- 2003年4月 創価大学法学部 学部長事務取扱 (2004年3月まで)
- 2003年4月 創価大学大学院法学研究科博士前期課程 演習担当
- 2004年4月 創価大学 法学部長 (2010年3月まで)
- 2004年4月 創価大学専門職大学院法務研究科 兼属 (2010年3月まで)

- 2005年7月 八王子市情報公開・個人情報保護審査会 会長
2007年4月 学校法人創価大学 評議員 (2019年3月まで)
2010年4月 創価大学 通信教育部長 (2022年3月まで)
2010年6月 公益財団法人私立大学通信教育協会 理事 (2022年6月まで)
2012年4月 創価大学 副学長補 (2020年3月まで)
2014年4月 創価大学男女共同参画推進センター センター長 (2022年3月まで)
2015年4月 公益財団法人東京富士美術館 評議員
2020年4月 創価大学 副学長 (2022年3月まで)
2023年3月 創価大学 名誉教授

(所属学会)

日本公法学会

宗教学会理事 (2023年11月まで)

日米法学会

日本平和学会

研究業績

- 1979年11月 「憲法訴訟における宣言的判決 — 現代民主制国家における司法権の役割に関する一考察 —」 創価大学大学院紀要第1集
1981年3月 伊藤満著『じっくり憲法を考えよう — 戦争は二度とごめん —』(共著)(九月書房)、執筆担当:「オーストラリアの情報公開 — 1978年の情報自由法案および79年の上院報告書を中心として —」
1981年11月 「情報公開と行政内部文書に関する適用除外 — アメリカ情報自由法(b)項5号に関する判例の展開を中心として —」 創価大学大学院紀要第3集
1983年2月 「国家秘密と情報の自由 — アメリカにおける国家安全情報の法的保護の問題点を中心として —」 創大平和研究第4号

- 1984年2月 「軍縮の推進とマスメディアの役割」 創大平和研究第5号
- 1984年8月 J.W.M. チャップマン他著『安全保障の新たなビジョン — 日本の防衛・外交・依存 —』高村忠成・山崎純一・花見常幸訳（潮出版社）、執筆担当：第1部「防衛」
- 1985年2月 「アメリカの国家安全保障と科学技術研究およびその公表の自由」 創大平和研究第6号
- 1986年10月 J.D. モンゴメリー著『ヒロシマ・ナガサキ・核 — 戦後アメリカ外交は成功したか? —』（共訳）高村忠成他訳（第三文明社）、執筆担当：第1章「戦争の余波」および第1章の付録
- 1987年3月 久保田洋著『実践国際人権法』（書評）創大平和研究第8号
- 1988年3月 創価学会青年平和会議他編、田畑茂二郎・斉藤恵彦監修『人権を考える』（書評）創大平和研究第9号
- 1988年12月 K.E. ボールディング著『トータル・システム — ニューアカデミーの確立 —』（共訳）高村忠成・山崎純一・花見常幸他訳（第三文明社）、執筆担当：序および第7章「コミュニケーション・システムとしての世界」
- 1989年12月 「イギリス放送苦情処理委員会とプライバシー保護」 創価法学第19巻第1・2合併号
- 1990年10月 伊藤満先生喜寿記念論文集『比較公法学の諸問題』（共著）（八千代出版社）、執筆担当：「アメリカ憲法における名誉毀損的表現と『公的人物』テスト」
- 1994年9月 相川清治編著『法学・憲法の基礎』（共著）（八千代出版）、執筆担当：憲法編の第2章「日本国憲法の成立」、第3章「国民主権と天皇」、第4章「戦争放棄」、および第9章「地方自治」
- 1994年12月 「人権論のアポリアを越えて」（報告）創大平和研究第14・15号
- 1995年3月 F. シャウワー「人間の尊厳と言論の自由」（翻訳）創価法学第24巻第1号
- 1995年3月 「権利条約と学校教育 — 憲法学の立場から —」 創大教育研究第4号
- 1995年7月 A. ゲワース「人権の基礎としての人間の尊厳」（翻訳）創大平和

研究第16号

- 1995年10月 「アメリカにおける信教の自由に関する判例法の展開 — 最近の最高裁判決とこれに対する議会の立法的対応を中心として — 」 宗教法第14号
- 1995年12月 「アメリカにおける定住外国人の表現の自由 — 判例法の展開と制定法の変遷に関する一素描 — 」 創価大学創立25周年記念論文集
- 1996年9月 相川清治編著『法学・憲法の基礎（第2版）』（共著）（八千代出版）、上記『法学・憲法の基礎』の第2版
- 1996年12月 「見解に基づく表現規制とレモン・テストの終焉 — 表現の自由保障と政教分離原則との相剋の一側面 — 」 創価法学第26巻第1号
- 1996年12月 「『下品な』テレビ・ラジオ放送と第一修正 — Action for Children's Television v. F.C.C., 58 F.3d 654(D.C.Cir.1995), cert. denied, 116 S.Ct.701 (1996) — 」 (判例研究) 創価法学第26巻第1号
- 1997年3月 「Madsen v. Women's Health Center, Inc., 114 S.Ct. 2516(1994) — アブーションを実施している医療施設の周辺でのそれに対する威嚇的な反対運動から、その患者等を保護するための差止命令について、言論活動を規制する差止命令に関する基準を示して、医療施設から36フィートの緩衝地帯の設置などは、第1修正に違反しないとした事例 — 」 (判例研究) アメリカ法1996-2号
- 1997年12月 「The Current Situation and Problems in the Legal Education amongst the Higher Institutions of Japan」 (ロシア極東総合大学「アジア太平洋法律研究センター」設立国際会議での報告) 創価法学第27巻第1号
- 1999年1月 「信教の自由回復法と合衆国最高裁の判断」 宗教法第17号
- 1999年4月 創価大学平和問題研究所編『地球市民をめざす平和学』（共著）（第三文明社）、執筆担当：第5章「国際社会の発展と人権」
- 1999年9月 藤田尚則・花見常幸・尹龍澤・岡部史信著『現代憲法論』（北樹

- 出版)、執筆担当:第2部「人権論」の第1章「人権の保障」、第2章「憲法上の権利の享有主体」、第3章「憲法上の権利の限界」、第4章「包括的基本権」、第5章「法の下での平等」、第6章「精神的自由」、第7章「経済的自由」、第9章「国務請求権」、および第10章「参政権」
- 2000年2月 伊藤満先生米寿記念論文集『憲法と行政法の現在』(共著)(北樹出版)執筆担当:「プライバシー権の保護と取材の自由 — カリフォルニア州反パパラッチ法を中心とする一素描 — 」
- 2000年3月 「ヒトのクローニングと実体的デュー・プロセス」(翻訳)創価法学第27巻第1号
- 2001年2月 相川清治編著『新版 法学・憲法の基礎』(共著)(八千代出版)、上記『法学・憲法の基礎(第2版)』の新版
- 2001年6月 「退職手当条例の合憲性」(判例研究)平成12年度重要判例解説(ジュリスト臨時増刊1202号)
- 2002年3月 「強制された言論と見解の中立性 — Board of Regents of the University of Wisconsin System v. Southworth, 120 S.Ct.1346 (2000) — 」(判例研究)創価法学第31巻第3号
- 2003年5月 藤田尚則・花見常幸・尹龍澤・岡部史信著『現代憲法論(改訂版)』(北樹出版)、上記『現代憲法論』の改訂版
- 2003年11月 「アメリカ合衆国における宗教的表現の自由と政教分離」宗教法第22号
- 2004年3月 「地域自治会による神社関係費一括徴収と自治会員の信教の自由」(判例研究)創価法学第33巻第3号
- 2004年3月 尹龍澤・姜京根編著『現代の韓国法』(共著)(有信堂高文社)、執筆担当:第3章の「言論情報法の分野における日韓両国の位相」
- 2008年10月 花見常幸・藤田尚則著『憲法』(北樹出版)、執筆担当:第2部「人権論」
- 2012年11月 花見常幸・藤田尚則著『憲法(改訂版)』(北樹出版)、上記の『憲法』の改訂版

2022年2月 花見常幸・藤田尚則著『憲法（第3版）』（北樹出版）、上記の『憲法』の第3版

（その他）

2011年3月 「私の学生時代 — 『第二の草創期』の視点から — 」創価教育第4号

2014年10月 「生涯学習の時代 — 学生の『学びたい』意欲に応える創価大学」第三文明2014年10月号（特集：学習のすすめ）

2015年6月 「大学における研究倫理 — 創価大学の取組みを通して — 」
(2015年6月13日に創価大学で開催された、日本比較文化学会第37回全国大会における特別講演)

2018年3月 「『学生のための大学』の通信教育課程として」大学時報379号
(特集：ICTを活用した通信教育課程)

2021年3月 渡辺秀樹著『芦部信喜 平和への憲法学』（書評）公明新聞2021年3月21日

2023年5月 「私たちの味方である憲法を知ろう」第三文明2023年5月号（特別企画：知っておきたい人権のこと）